



● 草の根パートナー型

平成21年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	東ティモール
2. 事業名	アイレウ県における保健スタッフ主体のFamily Health Promoter (FHP) サポート向上プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	東ティモール保健省は、未だ深刻な母子保健状況の改善のため、村の保健ボランティア (FHP) を中心とした、地域住民の健康促進プログラム (FHPP) を2005年より実施してきた。2008年からは国の最優先保健政策として、巡回型母子保健サービス、SISCaが各村で月一回行われている。ボランティア育成の経験を有する当団体は、FHPPの策定段階より保健省に協力を求められてきた。2007年からは、アイレウ県保健局をカウンターパートとし、SISCa活動を担うFHPの養成及び活動の質の向上を支援してきたが、現時点では行政には国際NGOのサポートなしに質の良いSISCa活動を提供する十分なキャパシティがあるとは言えない状況である。今後、自立発展性のあるSISCa活動を継続していくためには、地域保健行政が主体的かつ組織的にFHPをサポートしていく必要がある。本事業の戦略は、各郡の保健センター長をキーパーソンとし、県レベル、郡レベルで、SISCa改善活動の仕組みを作り、FHPへのサポートを定着させていくことである。
4. 事業の目的	保健スタッフによる、FHPのSISCa活動への自主的なサポートが定着する
5. 対象地域	東ティモール アイレウ県
6. 受益者層 (ターゲットグループ)	<直接受益者> アイレウ県・保健スタッフ (52人) 保健ボランティア (FHP) (203人)  <最終受益者> アイレウ県住民 (4万5千人)
7. 活動及び期待される成果	1. 保健センター長とDTT (県レベルトレーナー) を含む保健スタッフによって、FHPとSISCaの活動改善の計画、実施、評価が行われる 2. DTT/保健スタッフによって、SISCaのモニタリング後に、その結果に基づいたFHPへのミニ・トレーニングが行われる 3. SISCaの母子健康問題に応じた、保健教育がFHPによって行われる 4. 保健スタッフとFHPによって、SISCaのプロモーションが定期的に行われる
8. 実施期間	2010年11月から2013年11月 (3年間)
9. 事業費概算額	39,778千円
10. 事業の実施体制	シエ東ティモールが実施主体となり、シエ東京本部におけるアドバイザーグループ、運営委員会、理事会が必要に応じ、専門的なサポートを行う。
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 シエア=国際保健協力市民の会
2. 活動内容	アジア・アフリカ地域へ保健・医療専門家を派遣し、プライマリ・ヘルス・ケア、エイズ対策、母子保健等のプロジェクトを実施。日本国内では、医療サービスを受け難い環境にある外国人を対象に健康相談等を行う。